

## 日本平桜マラソンで優勝 近藤秀一さんが報告



▲日本平桜マラソンの優勝を報告する近藤さん

6月7日、東京大学陸上運動部3年生の近藤秀一さん（大土肥）が第33回日本平桜マラソン23.5km大学招待の部（4月開催）で優勝したことを森町長に報告しました。

近藤さんは「登りで集団を引っ張っていった。函南町の山道での練習の成果が出た」と優勝の要因を話してくれました。

また、「目標にしていた箱根駅伝では、2年連続で関東学連選抜チームのメンバーに選ばれたが、走ることができなかった。今後はマラソンを視野に入れて練習に励んでいきたい」と今後の抱負を話してくれました。

## フリマで環境・健康を促す 衣類や雑貨などを出店



6月11日、道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」コミュニティ広場でフリーマーケットが行われ、50区画が出店しました。

会場では、衣類やバッグ、靴、おもちゃ、食器などさまざまな品物が販売され、目当ての品物を求める大勢の来場者でにぎわいました。

この他に液肥の無償配布、ふじのくにエコチャレンジ実行委員会による「ちょいエコ宣言」、特定健診・がん検診受診率向上を目的としたチラシや啓発グッズの配布が行われ、環境・健康について来場者に促しました。



▲たくさんの来場者でにぎわいました

## 命を大切にする心を学ぶ 西小で動物愛護教室



▲飼い主に許可をとって犬の体を触る児童ら

6月15日、西小学校の体育館で動物愛護教室（県動物愛護協会主催）が行われました。

同教室は、犬の習性、接し方を学び、犬による危害を防止すること、動物の命を大切にする心を学ぶことを目的に西小学校3年生93人が参加しました。

児童らは犬に触れ合う前に、獣医師の先生から犬の体の説明や世話の仕方などの話を聞き、その後、動物ボランティアの皆さんが飼っている犬に触れ、犬との安全な接し方を学びました。

参加した児童は、「犬の毛はフワフワして気持ちいい。犬のことを知れて勉強になった」と感想を話してくれました。

# 団体・活動紹介

## 函南町文化協会

### 溪月会

室伏美恵子

私たちは、文字を通して自由な表現ができるように、現代書、漢書、国書などの臨書を積み重ね、基本を欠かさず筆法を学んでいます。現在は毎月1回の定例会で、月例競書の提出、意見交換、連絡事項の確認などを行っています。

溪月会は、故佐野丹丘先生の溪月山長光寺で、平成元年9月13日発会しました。心豊かな趣味の会を育てて生活を楽しくと、故斉藤長徳先生を中心に集まり、佐野先生の厳しくも温かい御指導を頂きました。当初の会員は函南町全域から約40人が集まりました。その後、尚友会に入れていただき、地元での展示会のほか、



広く産経国際書会や東洋書芸院展にも出品しています。また、東洋書書人連合では、毎年海外展を催し、それに出品、訪問団にも参加し、交流も行っています。当会も高齢化の波は避けられず、活動は減少傾向にありますが、同じものを目指す仲間との貴さを大切に、少数精鋭で確実に前へ歩み続けています。

問合せ先/室伏美恵子 (978-8242)

# 文芸散歩

不穏なる都の夜を雷はしる

石田 福子

晩年を恙なしやと月朧

犬飼 良助

黒ビール大風呂敷を二度ひろげ

小永井なみ枝

風薫る近江の海の入日かな

齋藤 和久

青嵐かたまり合いて鷺の群

鈴木 孝

梅雨近し伊豆の山々雲がくれ

春口 枯蓮

樹も草も人もしづかに梅雨の中

山田幸次郎

〈樹の会〉